



ルーキー、飛び立つ！

栗山中学校の1年生が全国へ

12月15日、沖縄県で開催される「JAL沖縄第5回ルーキーズベースボールカップ」への出場を決めた岩見沢リトルシニア球団に所属する栗山中学校の選手4人が、佐々木学町長を表敬訪問しました。選手たちは「たくさんヒットを打ってチームに貢献したい」などと意気込みを語りました。



地域で仲良く健康づくり

第19回継立健康フェスティバル

地域の健康づくりと交流を目的とした南部地区の恒例行事「第19回継立健康フェスティバル」（継立健康づくり推進員・継立まちづくり協議会主催）が11月30日、南部公民館で開かれました。継立まちづくり協議会の喜多村茂広会長は「健康づくりの意識を高め、体を動かす習慣を身につけましょう」と呼びかけました。



社会教育委員として10年

社会教育委員表彰

社会教育委員の田村賢治さんと太田逸郎さんが、永年の社会教育委員としての功績が認められ、北海道永年勤続功労社会教育委員表彰を受賞し、11月21日、吉田政和教育長へ報告に訪れました。吉田教育長は、「永年、地域の社会教育活動に尽力いただきありがとうございます」と感謝の意を述べました。



地域住民との交流

栗山高校生が手作りカレンダーをプレゼント

11月18日から21日にかけて栗山高校（坂上大介校長）の3年生が、手づくりカレンダーを老人クラブの皆さんに配布しました。生徒たちは松栄町内会集会所などでカレンダーを手渡し、ゲームなどで交流。受け取った方からは「毎年、茶の間に飾って使っています」と喜びの声が聞かれました。



美味しいお米を子どもたちに

給食米寄附

12月8日、そらち南農業協同組合（山本博行代表理事組合長）より学校給食用の米、半年分に相当するななつぼし3,150kg、JAそらち南ゆめびりか生産組合（賀集謙一組合長）よりゆめびりか300kg、JAそらち南減農薬米生産組合（塚本政紀組合長）よりななつぼし200kgが町に寄贈されました。

それぞれの組合は、品質の良いお米を栗山の子に食べてもらおうと、学校給食用として毎年、米を寄贈しています。

佐々木学町長は「栗山の未来を担う子どもたちのために10年以上にわたる寄贈をありがとうございます。食に対する感謝の気持ちを子どもたちへ伝えていきたい」と感謝を述べました。



消防力の強化に

栗山消防団に消防指令車を寄贈

松原産業株式会社（松原由典代表取締役社長）が栗山消防団に消防指令車を寄贈し、11月28日、栗山天満宮で納車式が行われました。同社は本町の消防力強化のため、過去にも車両などを多数寄贈されてきました。納車式には佐々木学町長をはじめ関係者12人が参加し、社内で厳粛な雰囲気のもと交通安全を祈りました。



育てた稲わらを使って

継立小学校でしめ縄づくり

継立小学校（川元海洋校長）で11月20日、稲作体験学習の一環として「しめ縄づくり」が行われました。株式会社斉藤ファームの斉藤今日子さんが稲に関する雑学や、しめ縄の作り方を紹介。この日は地域参観日でもあり、大人と一緒に作った華やかな縁起物をつけたしめ縄はそれぞれの家庭で年末に飾り付けられる予定です。

